

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】平成 19 年 7 月 19 日 (2007.7.19)

【公開番号】特開 2005-354314 (P2005-354314A)

【公開日】平成 17 年 12 月 22 日 (2005.12.22)

【年通号数】公開・登録公報 2005-050

【出願番号】特願 2004-171774 (P2004-171774)

【国際特許分類】

H 0 4 N 1/46 (2006.01)

G 0 6 T 1/00 (2006.01)

H 0 4 N 1/60 (2006.01)

【F I】

H 0 4 N 1/46 Z

G 0 6 T 1/00 5 1 0

H 0 4 N 1/40 D

【手続補正書】

【提出日】平成 19 年 6 月 1 日 (2007.6.1)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

被修正色データとターゲット色データとを取得する取得手段と、

前記被修正色データと前記ターゲット色データとを用いて修正領域を算出する算出手段と、

入力データと前記被修正色データとを通る直線と、前記修正領域の境界と、の交点を算出する手段と、

前記交点と前記被修正色データとの距離と、前記交点と前記入力色データとの距離とに基づいて重み係数を決定する決定手段と、

前記入力色データが前記修正領域内である場合、前記ターゲット色データと前記被修正色データとの差分と前記重み係数とに基づいて、前記入力色データに対して色変換を行う色変換手段と

を備えることを特徴とする色処理装置。

【請求項 2】

前記修正領域は、前記被修正色データと前記ターゲット色データを通る主軸と、前記被修正色データと前記ターゲット色データとの中点で前記主軸に互いに直交する 2 つの軸と、によって定義される楕円体であることを特徴とする請求項 1 に記載の色処理装置。

【請求項 3】

コンピュータを、請求項 1 又は 2 に記載の各手段として機能させるためのコンピュータプログラム。

【請求項 4】

被修正色データとターゲット色データとを取得する取得工程と、

前記被修正色データと前記ターゲット色データとを用いて修正領域を算出する算出工程と、

入力データと前記被修正色データとを通る直線と、前記修正領域の境界と、の交点を算出する工程と、

前記交点と前記被修正色データとの距離と、前記交点と前記入力色データとの距離とに基づいて重み係数を決定する決定工程と、

前記入力色データが前記修正領域内である場合、前記ターゲット色データと前記被修正色データとの差分と前記重み係数とに基づいて、前記入力色データに対して色変換を行う色変換工程と

を備えることを特徴とする色処理方法。

【手続補正２】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】発明の名称

【補正方法】変更

【補正の内容】

【発明の名称】色処理装置、色処理方法

【手続補正３】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００１３

【補正方法】変更

【補正の内容】

【００１３】

本発明は以上の問題に鑑みてなされたものであり、与えられた被修正色データとターゲット色データとを用いて修正領域を算出し、修正領域と入力色データとに基づいて重み係数を設定し、入力色データが修正領域内である場合にターゲット色データと被修正色データとの差分と重み係数とに基づいて入力色データに対して色変換を行う場合に、修正領域を「階調的反転」が発生しないように適切かつ簡易に設定することを目的とする。

【手続補正４】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００１４

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正５】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００１５

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正６】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００１６

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正７】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００１７

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正８】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００１８

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正９】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】 0 0 1 9

【補正方法】 削除

【補正の内容】

【手続補正 1 0】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 2 0

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【0 0 2 0】

本発明の目的を達成するために、例えば本発明の色処理装置は以下の構成を備える。

【手続補正 1 1】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 2 1

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【0 0 2 1】

即ち、被修正色データとターゲット色データとを取得する取得手段と、

前記被修正色データと前記ターゲット色データとを用いて修正領域を算出する算出手段と、

入力データと前記被修正色データとを通る直線と、前記修正領域の境界と、の交点を算出する手段と、

前記交点と前記被修正色データとの距離と、前記交点と前記入力色データとの距離とに基づいて重み係数を決定する決定手段と、

前記入力色データが前記修正領域内である場合、前記ターゲット色データと前記被修正色データとの差分と前記重み係数とに基づいて、前記入力色データに対して色変換を行う色変換手段と

を備えることを特徴とする。

【手続補正 1 2】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 2 2

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【0 0 2 2】

本発明の目的を達成するために、例えば本発明の色処理方法は以下の構成を備える。

【手続補正 1 3】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 2 3

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【0 0 2 3】

即ち、被修正色データとターゲット色データとを取得する取得工程と、

前記被修正色データと前記ターゲット色データとを用いて修正領域を算出する算出工程と、

入力データと前記被修正色データとを通る直線と、前記修正領域の境界と、の交点を算出する工程と、

前記交点と前記被修正色データとの距離と、前記交点と前記入力色データとの距離とに基づいて重み係数を決定する決定工程と、

前記入力色データが前記修正領域内である場合、前記ターゲット色データと前記被修正色データとの差分と前記重み係数とに基づいて、前記入力色データに対して色変換を行う色変換工程と

を備えることを特徴とする。

【手続補正 1 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 2 4】

本発明の構成により、与えられた被修正色データとターゲット色データとを用いて修正領域を算出し、修正領域と入力色データとに基づいて重み係数を設定し、入力色データが修正領域内である場合にターゲット色データと被修正色データとの差分と重み係数とに基づいて入力色データに対して色変換を行う場合に、修正領域を「階調の反転」が発生しないように適切かつ簡易に設定することができる。

【手続補正 1 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 5

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 1 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 6

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 1 7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 7

【補正方法】削除

【補正の内容】